

平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震に伴う対応状況

〔平成 20 年 6 月 16 日 17 時 00 分現在  
総務部総合防災室〕

平成 20 年 6 月 14 日 8 時 43 分に震度 6 強が発生したことに伴い、岩手県災害対策本部を 6 月 14 日 8 時 43 分に設置し対応しておりますが、16 日 17 時 00 分現在の被害情報及び対応状況等についてお知らせします。

**災害救助法の適用**

一関市：平成 20 年 6 月 14 日（土）

北上市、奥州市、金ヶ崎町及び平泉町：平成 20 年 6 月 14 日（土）

**1 住民等の被害**

**(1) 人的被害：死亡 2 名、負傷 36 名**

- ・奥州市 死亡 1 名（胆沢ダム工事現場）  
負傷 32 名（玉里保育所 7 名、バス転落 8 名、その他 17 名）
- ・一関市 死亡 1 名（交通事故：地震に驚き飛び出し）  
負傷 2 名（土砂崩れ 1 名、倒壊家屋 1 名）
- ・藤沢町 負傷 1 名（家を出た際に捻挫）
- ・平泉町 **負傷 1 名（避難中に骨折）**

**(2) 物的被害**

市町	被害棟数	被害状況
奥州市	<u>70 棟</u>	住家半壊（1）住家一部破損（69）
一関市	6 棟	住家一部破損（5）非住家（1）
北上市	<u>5 棟</u>	<b>非住家</b>
花巻市	3 棟	住家一部破損
金ヶ崎町	<u>19 棟</u>	住家一部破損
平泉町	<u>6 棟</u>	<b>住家一部破損（1）非住家（5）</b>
合計	<u>109 棟</u>	

**2 施設関係の被害**

**(1) 医療機関等**

18 施設で壁に亀裂、配管水漏れなど軽微な被害あり。

**(2) 社会福祉施設等**

老人福祉施設：9 施設で軒下石膏ボード落下、外壁亀裂

障がい福祉施設：10 施設で窓ガラス破損、天井一部落下、時計の破損など

児童福祉施設：13 施設で窓ガラス破損、天井・壁に亀裂、タイルの剥がれ

**(3) 教育施設**

被害のあった学校は次のとおり

**【公立学校】**

花巻市：小学校 1 校、高校 1 校

北上市：小学校 6 校、中学校 5 校、幼稚園 1 園、社会教育施設等 5 施設、  
文化財 1 施設

奥州市：小学校 19 校、中学校 11 校、幼稚園 6 園、高校 5 校、社会教育施設等  
35 施設、文化財等 5 施設

金ヶ崎町：小学校 3 校、中学校 1 校、幼稚園 3 園、社会教育施設等 2 施設、  
文化財 2 施設

一関市：小学校 11 校、中学校 11 校、幼稚園 3 園、高校 2 校、社会教育施設等  
8 施設

平泉町：中学校 1 校

遠野市：高校 1 校

1) 避難所となっている学校は、一関市本寺小学校（避難者 4 1 名）

#### 【私立学校】

専大北上高校、一関修紅高校、水沢第一高校、一関学院、岩手医大歯科衛生専門学校、修紅短大付属幼稚園、双葉幼稚園、瀧澤寺幼稚園、水沢学苑看護専門学校、大堤幼稚園、盛岡女子高校において、ガラス破損、校舎の壁にひびなどの被害。

#### (4) その他

いわてクリーンセンター

【焼却炉】機器冷却塔から水漏れ、ノズルが脱落し、コンプレッサー等の冷却機能が保てない状況

【埋立処分場】固定工にひび割れ 1 箇所

【えさしクリーンパーク】食堂天井にひび割れ

産業技術短期大学校水沢校：体育館のトイレの壁と天井被害など

千厩高等技術専門学校：管理棟などの壁中心に損傷十数か所

県南広域振興局本局、北上総合支局、花巻総合支局において、亀裂、梁破損、内壁剥離など

### 3 公共土木施設

道路 全面通行止め 5 路線 8 区間

片側交互通行 3 路線 3 区間

河川 衣川支川有浦沢川：土砂崩落により河川閉塞。 仮排水路を設置済

胆沢川：堤防天端にクラック有り。

磐井川：斜面崩落により河道内に土砂流入（2 箇所）。

久保川：小規模な土砂崩落があり、堤防の一部にクラック発生。

尿前川：斜面崩落 2 箇所確認。

ダム 石淵ダム：堤体天端に湾曲あり。左岸下流法面に崩壊あり。

周辺道路通行止め。ダムの安全性に大きな問題は認められないことから制限水位で維持。

胆沢ダム：転流工土砂閉塞 土砂撤去済

砂防 衣川地区で地すべりの報告を受けて調査中。

TEC FORCE、砂防ボランティア及び県職員の合計 61 名が危険箇所を緊急点検。

都市公園 水沢公園：石堀崩落、石碑が倒れている状況

えさし藤原の郷：亀裂等の被害あり

県営住宅 住宅本体の被害なし。微小ガス漏れ 1 件 措置済

一般住宅 15 日に県庁に「被災建築物応急危険度判定支援本部」を設置

一関市：15 日、16 日に市職員と県職員で被災建築物応急危険度判定のための調査及び判定を開始

奥州市：16 日から市職員と県職員で被災建築物応急危険度判定を開始

西和賀町：16 日に県職員で被災建築物応急危険度判定を実施、終了

### 4 農林水産業施設

農地・農業用施設 4 2 箇所

水路：2 1 箇所でパイプラインの空気弁破損など

ため池：奥州市、金ヶ崎町の 1 4 箇所でクラック等発生

ダム：奥州市の 5 箇所でクラック等発生

揚水機：奥州市の 2 箇所で配管破損

農業施設 1 1 箇所

耕種園芸：奥州市、北上市、西和賀町で種子センター油配管破損等

酪農：金ヶ崎町でサイロ倒壊など

林業施設 61箇所 林地崩壊(24箇所)、林道(33箇所)、特用林産物(4箇所)

県有施設 生物学研究所、県緑化センター、林業技術センターで天井の破損、  
蛍光灯の破損、焼却炉煙突倒壊など

水産業 1箇所：内水面養漁場のイワナ稚魚約8万尾へい死

## 5 ライフライン

水道関係 断水：850戸 奥州市衣川区北股簡易水道 80戸  
奥州市衣川区衣川簡易水道 770戸

電力関係 東北電力：奥州市で14戸が停電中  
東北電力磐井川水力発電所で発電停止

電源開発：胆沢第一発電所が全停止中

**【企業局】胆沢第二：停止中、発電所建屋の窓ガラス破損**

J R 全線運転再開

## 6 企業

・奥州市、北上市、金ヶ崎市、一関市、平泉町の企業の状況

【人的被害】避難時に負傷者1名

【物的被害】22社程度の企業から被害報告あり。

奥州市(5社)、北上市(7社)、金ヶ崎町(3社)、一関市(6社)

平泉町(1社)

### 孤立者の救出状況

(1) 須川地区

100名が全員秋田県境へ自主下山完了

(2) 真湯地区

自衛隊へりと防災へりで瑞泉閣へ移送

47名を移送完了

(3) 健康の森

100名全員移送完了

(4) 石淵ダム付近

バス20名 うち11名(怪我なし)は自衛隊へりで公民館へ収容

9名は自衛隊へりで水沢高校へ移送

(うち7名は胆沢病院へ搬送)

20名の移送完了

(5) 市野々原公民館

30名孤立

30名全員本寺小学校に移送完了

(6) 祭時大橋付近

40名孤立

40名全員移送完了

(7) 石淵ダム付近

放置車両22台確認：県警において安否確認済

### 避難の状況

(1) 避難勧告による避難実施：12世帯41名(一関市市野々原・祭時地区)

(2) 自主避難実施：9世帯23名(奥州市胆沢、衣川区)

### 現在の対応

(1) ヘリコプターの運用

一関市須川～真湯の地上部隊検索のため、人員輸送に自衛隊ヘリ1機、無線中継・上空検索のため横浜ヘリが対応。

岩手県警ヘリは、一関市須川上空を偵察(1回)

札幌市消防局の人員交代のため、札幌・川崎へリ、被災状況を視察。

(2) 地上部隊の運用

自衛隊及び消防職員 24 名体制（消防職員 8 名、自衛隊 16 名）で一関市須川～真湯の地上検索実施。行方不明者等の報告なし

地上検索に伴い県内消防応援部隊（12 隊 40 名）の拠点を一関総合体育館から本寺中学校へ移動（15：30 県内応援隊の解除決定）

**【今後の支援策等】**

地域振興部： 災害応急対策資金のあっせん

普通交付税（市町村分）の繰上交付

被災市町村に対する業務上の配慮

環境生活部： 県内外の複数企業から各種生活関連物資の無償提供の打診があるが、現在、市町村では地元対応で足りている状況を知らせるとともに、両市の災害対策本部窓口を紹介している。

商工労働観光部： 中小企業者対策

中小企業者等への相談窓口の設置と巡回相談等の実施

金融支援： 岩手県中小企業災害復旧資金

政府系金融機関にける災害復旧貸付制度

観光関係 観光関係の被害情報を収集、発信

県土整備部： 砂防 TEC FORCE、砂防ボランティア及び県職員の合計 61 名が危険箇所を緊急点検

一般住宅 一関市、奥州市で 16 日から被災建築物応急危険度判定を実施中。

宅地 一関市、奥州市の被災宅地危険度判定の準備中。